

7月23日 熊谷市で
観測史上最高 41.1℃



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 318

2018(平成30)年7月24日(火)発行



小高区・「憲法草案の起草者」鈴木安蔵生家が登録有形文化財に

○国の文化審議会は7月20日、県内の建造物6カ所24件を新たに登録有形文化財にするよう文科相に答申し、近く正式に登録される。その中に、憲法学者で映画『日本の青空』のモデル、「憲法の間接的起草者」の鈴木安蔵生家(南相馬市小高区仲町)も指定を受ける。○今後、「保存会」を設立するなど活動が望まれることでしょう。

《自民党改憲草案を考える②》暴走で改憲不要を証明》

○自民党が改憲をめざしているのは次の4項目。

①第9条への「自衛隊」の明記

②国民教育の無償化

③緊急事態条項の新設

④参議院選挙の合区解消

○でも②、③、④は改憲をしなくとも、既存の法律でできることで、本命は①9条改憲です。

②、③、④は9条改憲のための付け足しです。

○①9条については、2015年に強行採決した「安保法制」で海外で戦争ができる体制をつくったので、改憲や自衛隊明記の必要はありません。

○そしてこの7月18日、いつものように自民、公明党の横暴な強行採決で「参院定数6増の改正公職選挙法」が成立しますが、これは即ち④参議院選挙の合区解消を達成したことで、あえて改憲などしなくとも、自民党自らが法律を変えるだけで済むことを立証しました。与党の議員たちはこれでも安倍首相に従い、改憲を唱えるのか。



豪雨や死刑執行の前夜に “赤坂自民亭”

●7月5日夜、安倍晋三首相を囲んで政権中枢議員たち50人が嬉々として飲み会を開催●後楽園の語源になった「先憂後楽(せんゆうこうらく)」。「政治家は国民よりも先に国のことを心配し、国民が楽しんだ後で自身も楽しむべき」の意味だが●特に死刑執行に押印し女将役の上川陽子法相の笑顔は信じがたい●それでも支持率は下がらない不可解さ。日本の行方は…

「安倍9条改憲NO!」署名活動はさらに延長継続で

◇昨年秋からの行われてきた改憲阻止の「安倍9条改憲NO!」の署名は、6月末日まで1350万筆が国会に提出されました。福島県内では133,303筆を達成(目標24万筆の25%)の集計でした。

◇このほど署名集計本部から「改憲発議を阻止する世論を喚起するため、さらに署名活動を継続しましょう」との連絡があり、本会でも延長して署名を集めることにしました。酷暑の忙しい中ですが、1・2名の署名でも本会事務局員にお届けくださいますようお願いいたします。

県九条の会主催・高田 健講演会

○9月7日(日)午後1時～

○福島市教育会館(福島市)

○入場:500円

＜高田健さん＞は、1944年郡山市生まれ。早大中退。「戦争させない・9条壊すな!総がかり」市民運動の共同代表。



2007年
2月3日
本会でも
講演会を開催

会員さんの本・被災地の福島県・南相馬市・飯舘村の本

『大貫昭子遺稿集 その時、バアバは何をしていたの?』



◀2016年5月11日、東京・代々木公園で開催の第87回中央メーデーで、原発被災地福島の学校現場の苦悩を訴える大貫昭子さん。

高校社会科教員だった大貫昭子さんは、3.11の大震災や原発事故に翻弄される教育現場（小高工高・原町高）で、非常時とはいえ様々な理不尽さを体験します。教職員組合の女性部部長だったので、全国各地の教員組合から招かれ、その不条理や怒りを30力以上の講演会で訴えます。また、生徒や教員の震災体験集『福島から伝えたいこと』1・2・3集の編集や発行のリーダーでした。

2015年3月退職後は、全国からの被災地視察団の大型バスなどに乗り込み精力的に約2千人も案内。ところが、ガンが再発し2016年9月に手術。大貫さんは自分の葬儀弔辞を組合委員長の杉内清吉さんに依頼し、会葬礼状もご自分で書かれています。そして2017年2月9日、62歳で死去。余りに早い無念な最期です。正義感に強く、生徒が大好きで熱心な指導で厚い信望を寄せられていました。本会会員で会報No.230（13年12月）に大震災への思いを寄稿されています。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。 <『遺稿集』ご入用の方は、事務局山崎健一へご一報ください>

『語り継ぐ、ふるさと南相馬 ～生きたあかしと、生きていく想いと』

まなびあい南相馬 聞き書き選書2 ○「まなびあい南相馬」代表の高橋美加子さんが中心に編集発行。小高区の歴史を、佐々木清明・佐々木行雄・飯崎忠雄さんらからの聞き取りをまとめたもの。興味深い内容で、元気になって小高再生の励みになる一冊です。

『この大地 奪われし人びと』

写真・文：菊池和子 発行：遊行社・¥2000+税

○原発事故の被災地フクシマに寄り添い、写真と16名の訴えです。

『あれから7年、福島の実現』

○飯舘村出身の大渡美咲、発行：市民セクター政策機構 医学博士崎山比早子、訴訟団長村田 発売：ほんの木・¥1000+税 弘、おしどりマコなどの熱い語りを。

『飯舘を掘る』

○飯舘出身の元河北新報記者が、天明の飢饉と、今回の原発事故を重ねあわせ歴史を振り返る。佐藤昌明著 現代書館 南相馬市民にとって福島市への通過点の村ですが、¥1600+税（2018年3月） 現在に続く壮絶な歴史に驚嘆します。



浪江町長の馬場有(たもつ)さんが、6月27日、胃がんのため69歳で死去

●1948年 浪江町生まれ。原町高校・東北学院大学卒。県議会議員を経て、2007年から町長に就任。●大震災、特に原発事故では、原発立地町ではない浪江町には、国・政府・東電からなんの情報や連絡もないことに大きな不満と怒りを抱く。東電の責任を厳しく追及し、全町避難から帰町まで、町の復興や再生のため道半ばの惜しまれるご逝去です。



「はらまち九条の会」事務局 <市外局番はTEL0244>

○会長：平田慶肇(ひらた けいいち) TEL24-1211・FAX24-4825
 ○事務局長：早坂吉彦 〒975-0016南相馬市原町区仲町2-161 TEL090-2975-2508
 ○事務局次長：山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com
 ○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892
 ○石田賢二 TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○志賀勝明 TEL090-9530-5524
 ○HP：大浦祥見 TEL24-0704 ○栗村文夫・桂子 TEL090-8851-6904 ○田中徳雲 TEL090-2796-4066

